露國征伐戰勝笑話

骨皮道人

○雀くの噂

熊の国の兵隊兵が、熊の毛に似たる雪の中で、鳥くの噂するを聞けば甲「鶏が死べば鳥も死ぶとか云ふのて、我くも豆鉄砲を撃いで、烏餘くと死出して来たるの、雞に致せ年中しやも食て顫って居るゆうな鳴だから、すぐめくと云たからッて、第一軍艦でさへ凍り附て動でかないし、ヤット蹠へ出て見たと思やア、日本の蹠千種や迷雀の為めに、嘉沈と跳飛されて仕舞うし、蹠に日本の軍人ハ、一命を鴻毛より軽んずると云ふのだもの、手柄な大勝な軍勢に出会た日にゃア、鶏の一声聞に取られた油揚だと「夫だら鶏絶糧も黒焦も、首を捻ッて居るさうだが、何にしても仕り甲斐振りの利かないねあしだなア」丙「ナーニ鳴ウすハなに、どうせ此様な雲に雲雀ついて居たッて仕方がないから、先つ此國をつばめて日本の風風へ引渡して仕舞て、我くハ雲雀に迷ふだけの事サ……お前ら倩に居た鶏が「お結構コー。